

# 水道事業の課題と取組

第2回 加賀市上下水道事業経営検討委員会

加賀市上下水道部

# 目 次

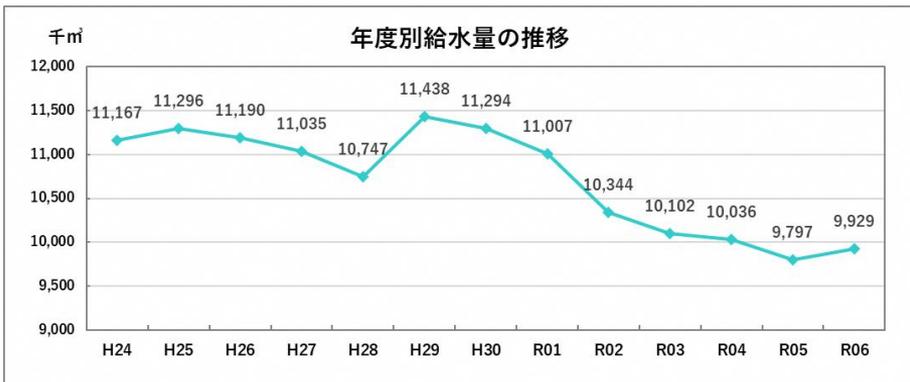
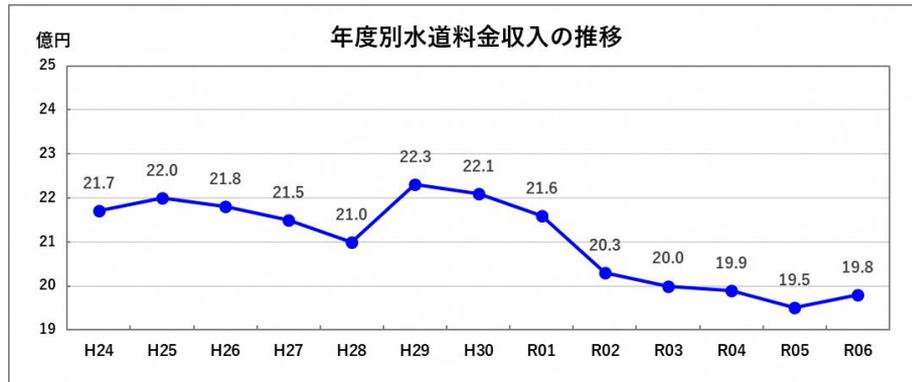
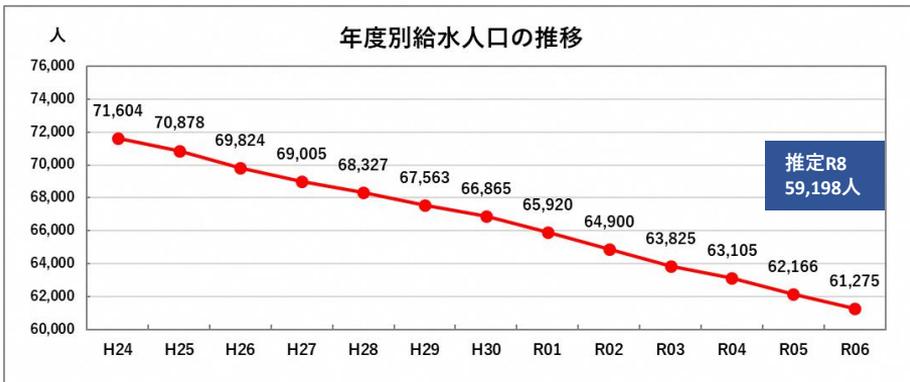
---

- 1** | 料金収入等に対する課題と取組
- 2** | 耐震化・老朽化の課題と取組
- 3** | 職員数の変遷と民間委託の状況

# 1. 料金収入等に対する課題と取組

---

# 料金収入等に関する課題と取組



## 給水人口の課題

平成24年度の71,604人から令和6年度の61,275人へと、約10,000人減少しており、毎年減少傾向が続いている。

今後もさらに減少が見込まれることから、安定した事業運営が難しくなるおそれがある。

## 給水量の課題

平成24年度の11,167千m<sup>3</sup>から令和6年度の9,929千m<sup>3</sup>へと減少しており、年々給水量が減少傾向にある。

人口減少や節水意識の高まりなどにより、水の使用量そのものが減っていると考えられる。

## 水道料金収入の課題

平成24年度の21.7億円から令和6年度の19.8億円へと減少しており、給水人口や給水量の減少に伴って料金収入も減少傾向にある。

令和2年度以降は20億円を下回る年度もあり、収入面での減少が顕著となっている。

## これまでの取組

### 支出

料金収入減少の見込みから、業務の見直しや民間活力の導入により経費削減を継続的に実施。

維持管理業務の効率化を進め、電力費・委託費などのコスト抑制に努めてきた。

また、老朽施設更新時には長期的なコスト管理を意識した改修を行うなど、将来的な維持費低減も図っている。

### 収入

平成22年8月の料金引下げ以降、消費税率変更に伴う改定を除き料金改定を実施していない。

(消費税率変更による引上を除く)

## 2. 耐震化・老朽化の課題と取組

---

# 耐震化・老朽化の課題と取組

課題		加賀市の取組
水道管、施設の老朽化・耐震化	更新・耐震工事の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽管更新工事に併せた耐震化の推進</li> <li>老朽管の布設替工事実施時に人口減少等に対応した配管経路や水道管の大口徑⇒小口径への見直しなどを実施し、工事費や維持管理費を軽減化</li> <li>水道管のAIによる劣化診断の導入により精度の高い効率的な更新計画（R7作成中）</li> </ul>
物価の高騰	電気料・修繕費・工事費等あらゆる費用の増加 例) 電気料金 有収水量1m <sup>3</sup> あたり単価(電気料総額) H29年度 3.6円/m <sup>3</sup> (41百万円) R 6年度 6.5円/m <sup>3</sup> (64百万円)	
自然災害リスクの増加	突発的な修繕対応の増加 受援体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間企業の専門性（技術力）の確保</li> <li>災害時の対応人員の確保</li> <li>民間企業との災害時連携協定</li> <li>(公)日本水道協会による災害訓練、技術交流への参加</li> <li>山中浄水場運転管理委託</li> <li>上下水道維持管理等業務委託</li> <li>R7年度 水道施設包括委託</li> <li>料金徴収窓口業務の民間委託</li> </ul>
職員数減少	災害時のマンパワー不足  技術継承問題	



# 3. 職員数の変遷と民間委託の状況

---

# 職員数の変遷と民間委託の状況

